

ちようさい  
【みわかれいきもの調査隊活動開始！】

当館は、氷上回廊や石生の水分れの不思議と魅力を伝える総合博物館です。小さな施設ではありますが、展示やイベントに力を入れて運営をしています。

令和7年度からは、自然観察グループ「みわかれいきもの調査隊」を結成しました。月に2回程度集まって、三ツ塚史跡公園の池を借りてビオトープの整備や調査をしたり、バードウォッチングや標本づくりを体験したりと、幅広い活動をしています。今年のビオトープ調査では、準絶滅危惧種のクロゲンゴロウなども見つかりました。

参加者には、活動をとおりて丹波の豊かな自然と触れ合い、生物や生態系の面白さを学び、標本を作って保存する博物館の役割を知ってもらいたいと思っています。

丹波市の「はかせちゃん」たち、ぜひ私たちと一緒に自然を楽しみませんか？ ご参加お待ちしております！



ホームページ



「岩尾城跡主郭石垣」(山南町)  
石垣のあるお城



「誉田城跡」(市島町)  
土造りのお城

【山に残るお城】

皆さんは山の上にあるお城に登ったことはありますか。お城と聞くと、姫路城のような大きな天守や石垣を想像するかもしれませんが、日本のお城のほとんどは山の上にあります。これを「山城」といいます。山城は、道を細くしたり、途中に大きな堀や土塁(土の壁)を設けたりして敵が攻めにくいようにしています。丹波市には、黒井城や岩尾城のような石垣のお城だけでなく、こういった土造りのお城がたくさんあるんです。

今となっては草木が生い茂っていますが、歩いてみれば当時の道や堀、土塁がひっそりと残っており、昔の人々の工夫と知恵を感じることができます。ぜひ一度登ってみてください！

そして、春日歴史民俗資料館では、丹波市のお城をいくつか紹介・展示しています。こちらぜひお越しください！ご来館お待ちしております。

「わっと！みゅーじあむ+らいぶらりー」には、「ミュージアムって何だろう？(What's Museum?)」と興味を持ってもらいたいという願い、「わっ！」と驚くような体験と楽しさ、そしてミュージアムや図書館から広がる学びの「輪」という意味が込められています。



みゅーじあむ+らいぶらりー

青垣いきものふれあいの里



氷上回廊水分れ  
フィールドミュージアム



中央図書館



丹波市

青垣図書館

市島図書館

市島民俗資料館

春日歴史民俗資料館

春日図書館

植野記念美術館



柏原図書館

山南図書館

柏原歴史民俗資料館



たんば恐竜博物館



**【リニューアルオープン！】**

たんば恐竜博物館は7月12日にリニューアルオープンしました。今回、新たに生命の進化の歴史に関する展示を追加しています。生命の進化の歴史は、生物を分類（仲間分け）することで明らかになってきました。例えば、私たちヒトは四肢動物類 哺乳綱 霊長目、タンパティタニスは四肢動物類 爬虫綱 竜盤目に分類されています。両者の分類を比較すると、



つりゅうるい  
角竜類



哺乳類・爬虫類

どちらも同じ四肢動物類ですが、その後に哺乳綱と爬虫綱へ分かれたことがわかります。このような生物の仲間分けや分岐を、樹に見立てて視覚的に示したものを「系統樹」といいます。リニューアルした展示では、展示物の背景に系統樹を示しており、生物がどのような仲間から分岐し進化してきたのかを学ぶことができます。展示物だけでなく、その背景にある系統樹にも是非ご注目ください。

かいえん  
**【開園30周年を記念して】**

青垣いきものふれあいの里は、1995年4月29日に開園し、今年開園30周年を迎えました。

開園30周年記念事業として、5月25日に佐治来楽館で、兵庫県立人と自然の博物館の村上哲明館長による記念講演会「氷上回廊は森の境界線～DNAでわかった日本列島内の東西の違い～」を開催しました。午後からは、佐治倶楽部理事の植地 惇さんから佐治倶楽部の取り組みや、佐治の町並みを案内してもらいました。

30周年の節目の年として、これまでの30年を振り返るとともに、10年先、20年先を見ずえて、建物や展示してあるものをさらに充実させながら「ふるさと丹波・青垣の豊かな自然、地域、人々に誇りと愛着を持ち、豊かな自然を大切にす 丹波・青垣の未来の創り手を育む」施設として活動に取り組んでいきます。ぜひ、遊びに来てください。



Instagram

**【大阪・関西万博とパプアニューギニア】**

今年の4月13日に開幕した「大阪・関西万博」に合わせて、丹波市立植野記念美術館では「大阪・関西万博開催記念 パプアニューギニア民族美術の世界」（4月12日～5月25日）を開催しました。

丹波市とパプアニューギニア。一見何の関係もなさそうですが、当館の創設者・植野藤次郎さんがパプアニューギニアにエンバ探検隊を派遣して現地の作品を集めていたという縁があります。今回の展覧会では万博というテーマで、国立民族学博物館からも作品をお借りしました。1970年の大阪万博のために世界中で集められた仮面等が同館に収蔵されています。これらの作品22点を特別にお借りして、エンバ探検隊が集めた土器や神様の像と一緒に紹介しました。



「はしもとみお木彫展 いきものたちとの旅～太古への冒険」  
(会期：令和7年10月18日～12月7日) においても館蔵品のパプアニューギニア民族美術作品をコラボ展示しました。



「仮面土器」  
セビック河上流  
ワシク地方



「神像付きの祭壇」  
セビック河中流  
タンバナム村



Instagram



YouTube

**【紹介します！ 図書館の本の並べ方】**

丹波市には6つの図書館があり、あわせて約42万冊の資料（本、雑誌、DVDなど）があります。図書館の本の並べ方を知っておくと、たくさんの中から読みたい本をより早く見つけられます。

本は、内容によって10のグループに分かれており、同じ内容の本が同じ場所に集まる仕組みになっています。そして、本を数字でグループ分けし、書架（図書館の本棚の呼び方）に、小さい数字から大きい数字の順番に、上から下、左から右に並べています。グループ分けした数字は、本に貼ってあるラベル（図書館では背ラベルと呼びます。）に書いてあるので、本をさがすときに注目してみてください。

図書館のことをもっと知りたい！と思ったら、「こども司書養成講座」や「夏休み一日図書館員」で学ぶことができますよ。ぜひ参加してくださいね。

背ラベル

